

学習評価について

令和4年度

中学校教育課程研究協議会 理科部会



令和4年7月 岐阜県教育委員会

学習評価とは

「生徒にどういった力が身に付いたか」
学習の成果を的確に捉える



教師：指導の改善を図る

生徒：自らの学習を振り返り次の学習に向かう

学習評価の充実

単元など内容や時間のまとまりを見通しながら

- 生徒の主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業改善を行う

授業の改善

- 評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価する

評価の改善

学習評価の目的等

生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること。また、各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすること。



学習評価の目的等

生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること。

(1) 生徒のよい点や進歩の状況などを…【対象】

(2) 積極的に…【実施】

(3) 学習したことの意義や価値を実感できるようにする…【目的】



中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「総則編」P91

(1) 【対象】生徒のよい点や進歩の状況などを評価

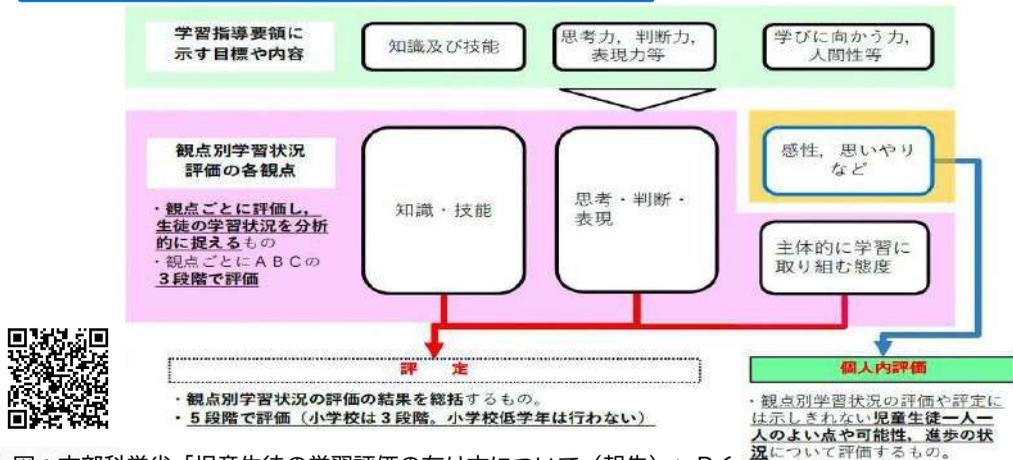
・ 学習の成果 + 学習の過程

・ 教師による評価 + 相互評価 + 自己評価



(2) 【実施】積極的に評価する。

・個人内評価も積極的に



図：文部科学省「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」P 6

(3) 【目的】学習したことの意義や価値を実感できるようにする

(1) 改訂に当たっての基本的な考え方

理科で育成を目指す資質・能力を育成する観点から、自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するなどの科学的に探究する学習を充実した。また、理科を学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高める観点から、日常生活や社会との関連を重視した。



(3)【目的】学習したことの意義や価値を実感できるようにする

- ・ 日常生活や社会との関連を重視
- ・ 「理科の見方・考え方」を働かせて探究することや、問題を「科学的に」解決していくことの意義や価値

学習評価の目的等

各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすること。



『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料



第1編 総説

- ・平成29年改訂を踏まえた学習評価の改善
- ・学習評価の基本的な流れ

第2編 「内容のまとまりごとの評価規準」作成の手順

第3編 単元ごとの学習評価について（事例）

- ・「内容のまとまりごとの評価規準」の考え方を踏まえた評価規準の作成
- ・学習評価に関する事例について

事例1 指導と評価の計画から評価の総括まで

事例2 指導と評価の計画から評価の総括まで

事例3 「知識・技能」の評価

事例4 「思考・判断・表現」の評価

事例5 「知識・技能」、「思考・判断・表現」の評価

事例6 「知識・技能」、「主体的に学習に取り組む態度」の評価

事例7 「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の評価



「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する際の基本的な手順

学習指導要領に示された教科及び学年（又は分野）の目標を踏まえて、「評価の観点及びその趣旨」が作成されていることを理解した上で、

- ① 各教科における「内容のまとまり」と「評価の観点」との関係を確認する。
- ② 【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する。



理科の「内容のまとめり」

<例>〔第1分野〕

〔第2分野〕

2 内容

2 内容

(1) 身近な物理現象

(1) いろいろな生物とその共通点

(2) 身の回りの物質

(2) 大地の成り立ちと変化

...

...

→ 大項目を「内容のまとめり」としている。

「内容のまとめりごとの評価規準(例)」は巻末資料に掲載



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校理科）P 2 7

理科の「内容のまとめりごとの評価規準」

(2) 学習指導要領の「2 内容」及び「内容のまとめりごとの評価規準(例)」

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
学習指導要領 2 内容	ア 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、 <u>次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。</u>	イ 身近な物理現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現すること。	※ 内容には、学びに向かう力、人間性等について示されていないことから、該当分野の目標(3)を参考にする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとめりごとの評価規準例	身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、 <u>光と音、力の働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。</u>	身近な物理現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現している。	身近な物理現象に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ※ 根分野別の評価の観点の趣旨のうち「主体的に学習に取り組む態度」に関わる部分を用いて作成する。



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校理科）P 3 1

理科の「単元」について

<例>〔第1分野〕

2 内容

(1) 身近な物理現象 → 大項目：「内容のまとめり」

ア

(ア) 光と音 → 中項目：「単元」

⑦ 光の反射・屈折 → 小項目

→ 参考資料では、**中項目を「単元」としている。**

「単元の評価規準(例)」を巻末資料に掲載。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校理科）P 35～



学習評価の進め方

- ① 単元（中項目）の目標を作成する。
- ② 単元の評価規準を作成する。
- ③ 「指導と評価の計画」を作成する。
- ④ 授業を行って、観点別学習状況の評価を行う。
- ⑤ 観点ごとの総括を行う。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校理科）P 37



学習評価を行う上でのポイント

<評価を行う場面や頻度>

- ・日々の授業の中では生徒の学習状況を把握して指導に生かすことに重点を置く。
- ・各観点別に評価を記録に残すことは、原則として単元の内容や時間のまとまりごとに、それぞれの実現状況が把握できる段階で行う。



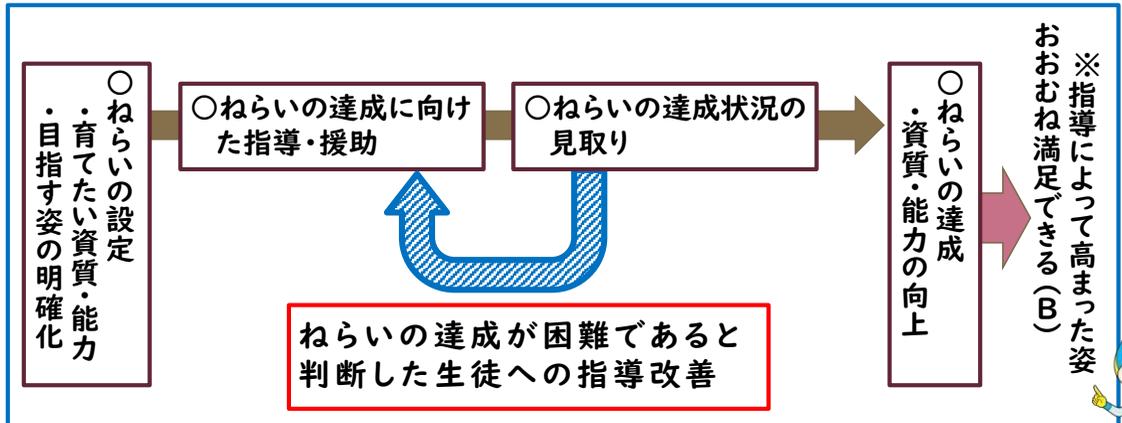
学習評価を行う上でのポイント

観点 \ 時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
知識・技能	●	●						●	○	
思考・判断・表現			●			●	○			○
主体的に学習に取り組む態度	●			●	○					○

- …評価を指導に生かす 基本的に毎時間行う評価。学習状況を適切に見取って、つまずきの解消を目指す。
- …評価を記録に残す 指導した内容について生徒の達成状況を見取って、全員の記録を残して総括する。



学習評価を行う上でのポイント



「知識・技能」をどう見取るか

自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているか

発言や記述の内容
ペーパーテスト

自然の事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得しているか

行動の観察
記述の内容

観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理、資料の活用の仕方などを身に付けているか

パフォーマンステスト
ペーパーテスト



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校理科）P 4 1



「思考・判断・表現」をどう見取るか

自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するなど、科学的に探究する過程において、思考・判断・表現しているか

発言や記述の内容
ペーパーテスト



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校理科）P 41

「主体的に学習に取り組む態度」を どう見取るか

自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているか

発言や記述の内容
行動観察



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校理科）P 41

「主体的に学習に取り組む態度」

評価の留意点

- ① 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた

粘り強い取組を行おうとする側面

- ② ①の粘り強い取組を行う中で、

自らの学習を調整しようとする側面



「主体的に学習に取り組む態度」

評価の留意点

「試行錯誤した学習の状況を振り返る場面」を設定する

「①粘り強い取組を行おうとする側面」と、

「②自らの学習を調整しようとする側面」を評価できる

課題を設定し、客観的に評価することができるように、

ワークシート等に振り返りの視点を明示する。



振り返りの視点を入れたワークシートの例

- 1 「どのような知識及び技能を活用したか」
(この時間の活動について、課題を説明するためにあなたが手がかりにしたことや意識したことなど)
- 2 「誰とどのような対話をしたか」
・自分の考え ・班で話し合った後の考え
- 3 「何に気付いたか」
(課題を設定し解決する学習を行い、大切だと感じたことや学習を進めるうえで気付いたポイントなど)



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校理科）P 64

振り返りの視点を入れたワークシートの例

- 「体内環境の維持の仕組み（全10時間）」について、
今までの学習を振り返って、次の①と②を書きましょう。
- ①分からなかったこと、あるいは、新たに疑問に思ったことは何か。また、それらをどのように解決したか。
 - ②次の単元での学習に向けて、自分の学習方法について感じた課題は何か。また、それをどのように改善していくか。



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（高校理科：生物基礎）P 95

学習評価について指摘されている課題

- ・学期末や学年末などの事後での評価に終始してしまうことが多く、評価の結果が**生徒の具体的な学習改善につながっていない。**
- ・「主体的に学習に取り組む態度」について、挙手の回数や毎時間ノートをとっているかなど、**性格や行動面の傾向が一時的に表出された場面**を捉える評価であるような誤解が払拭しきれていない。
- ・教師によって評価の方針が異なり、学習改善につなげにくい。
- ・教師が**評価のための「記録」に労力を割かれて、指導に注力できない。**
- ・相当な労力をかけて記述した指導要録が、**次の学年や学校段階において十分に活用されていない。**



「主体的に学習に取り組む態度」の評価？

- ①授業中に私語が多い、ふざけている、寝ている生徒を減点する。
- ②レポートで字が汚く読みにくかったので、減点する。
- ③挙手や発言の回数で加点する。
- ④グループの発表者になった回数で加点する。
- ⑤色ペンや写真を多用した、きれいなレポートに加点する。
- ⑥文字数や枚数が多いレポートに加点する。
- ⑦教科書など忘れ物をした生徒を減点する。
- ⑧ワークを何回も取り組んだ生徒に加点する。
- ⑨レポートの提出期限を守らない生徒を減点する。
- ⑩単元第1時のブレインストーミングで多く書き出した生徒を加点する。



組織的かつ計画的な取組を推進

- (1) 評価規準や評価方法等について、事前に教師同士で検討するなどして明確にすること
- (2) 評価に関する実践事例を蓄積し共有していくこと
- (3) 評価結果についての検討を通じて評価に係る教師の力量の向上を図ること
- (4) 学校が生徒や保護者に、評価に関する仕組みについて事前に説明したり、評価結果についてより丁寧に説明したりすること



中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「総則編」P93

学習評価について

令和4年度

中学校教育課程研究協議会 理科部会



令和4年7月 岐阜県教育委員会